

## e-モニターアンケート結果報告書

アンケート名称	図書館の利用および子どもの読書活動に関するアンケート
担当部・課名	生涯学習部 中央図書館

### アンケート結果の市政への反映状況

今回のアンケートは、今後の図書館サービスの充実、子どもの読書活動の推進に向け参考とすることを目的として実施しました。

#### 【図書館の利用について】

「図書館に関する情報をどのような媒体で目に入れているか」については、「広報いちかわ」がもっとも多く 54%、次いで「市公式 Web サイト・市川市立図書館 Web サイト」が 39%でした。一方、「見たことがない」という回答も 28%あり、より効果的な P R 方法の検討が必要であることが分かります。

「1 年以内に図書館を利用したことがあるか」では「ある」が 56%で、約半数の方が「1 年以上利用していない」という回答で、利用していない理由としては、「行く時間がない」が最も多く、「自分で本を購入している」、「アクセスが悪い」が続く結果になりました。

「図書館をより魅力的な施設になるために望むこと」については、「蔵書（全般）の充実」がもっとも多く、「閲覧スペースの充実」「館内の快適性の向上」が続きました。蔵書の充実とともに館内の快適な空間で読書を楽しみたいという要望が多いことが分かります。

なお、前問で「(図書館に) 行く時間がない」と答えた方の 28%、「アクセスが悪い」と答えた方の 31%が「電子図書の提供」を望んでおり、電子図書の導入が時間もしくは距離の面で来館に制約がある方にとって読書の機会を増やす一助となると考えられます。

「今後充実を希望するサービス」については、「趣味や健康等、生活に関連する情報の提供」が 31%、電子図書の貸出などの「非来館サービス」が 25%、「レファレンスや読書相談、調べ学習に関するサービス」が 16%となり、生活に関連した情報の発信が求められています。

#### 【子どもの読書推進について】

「絵本の読み聞かせ等のイベントに参加したことがあるか」については、「ある」という回答が 21%でした。

読み聞かせのイベントに参加したことがある方の「参加した施設」としては、「図書館」が 68%、次いで「こども館等」が 53%、「デパート・ショッピングセンター」が 15%という結果になりました。

「子どもたちが本に慣れ親しむためにどんな環境が必要だと思うか」では、「家族での読み聞かせ」が 57%、次いで「家族が読書をする姿を見せる」が 53%、「学校での読書の時間（授業・指導）を増やす」が 45%となり、学校等での活動以上に家庭での読み聞かせや読書が必要だと認識されているということが示されています。図書館でも家庭での読書体験をさらに広げるため、本との出会いの機会となるイベント等の実施に取り組み、子どもたちに読書の楽しさや大切さを伝えまいります。

アンケートの結果を踏まえ、いただいたご意見を市政へ反映できるよう取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。